

投資日報出版(株)

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-12-11 GRANDE人形町6階

TEL:03-3669-0278 FAX:03-3668-4444

コピー対外配布厳禁

1. 回顧

先週の引け値は前週比 297 ポイント安の 7,779、高値は月曜日の 8,257、安値は木曜日の 7,685、高値は週間上値抵抗線に接近したが引け値は週間下値支持線を下回ったので非常に弱気である。また引け値は週間トレンドインディケーターポイントを5週連続下回り下落の週であったのでニュートラルから下降トレンドへ格下げされる。

2. サイクルズ

今週は10月28日の安値 6,995 から起算して旧PC(13~19週)16週目である。従って現在PCがボトムをつける時間帯に入っており、今後3週以内にボトムをつけるだろう。一旦ボトムをつければ少なくとも2~5週間の急騰を演じるだろう。このボトムは長期サイクルの位相を判断するために重要である。もし10月28日の安値 6,995 が維持されれば強気の特徴を示す(安値が切り上り)。その次のサイクルは現行PCの高値 9,521 を上抜くはずである。これが実現すれば、同タイプのサイクルの高値更新が続く。これは強気のサインである。

もし高値がPCの9週目の火曜日以降に出現すれば、それは新長期サイクルに入っている3番目の特徴であり、強気である。しかしこれらのすべてが実現する迄は、長期サイクルは依然として下降を示している。

昨年のレポートで次の通り述べた “...3年サイクルは2009年6月の前後6ヶ月に向けて下向きである。18.5ヶ月サイクルも下向きで、2009年6月から2010年1月までボトムを付けない。...長期ストラテジーは来年下半に向けて弱気に留まる。すなわち、この時期までは、すべてのPCの天井で売りを狙う”。

3. ジオコスミックス

2月12日の安値 7,685 は1月26日の安値 7,671 の再テストである。これはいずれも重要変化ゾーンで起こった。1月26日は1月23日の★★★重要変化日の1営業日後であった。2月12日は2月13から16日のワンスター変化日の1営業日前であった。さて2月12日の安値は維持されるだろうか？予想は困難であるが、テクニカル分析では維持されるほど強気には見えない。相場はさらに下落するように見える。未だこの変化ゾーンのオーブの範囲内である。先週次の通り述べた “今週末から来週初めにかけて1つの重要変化時間帯が出現する。それは太陽と海王星のコンジャンクション(2月12日)と火星と木星のコンジャンクション(2月17日)である。これはやや重要であるが3月6~9日の変化日ほどの強力さはない”。

3月初めの天体位相のクラスターゾーンが現在の処、今年の最も重要なゾーンであろう。もしPCのダブルボトムを現在形成中とすれば、その後反騰して3月初めにPCの天井をつける可能性がある。しかし相場が続落すれば、3月初めにPCボトムをつけるだろう。現時点では3月初めに相場がどの方向に行くかを見守るだけである。

4. 目標値及びパターン

先週次の通り述べた “1月26日の安値 7,671 がPCボトムであったとすれば少なくとも2~5週間の上昇が進行中であり目標値は $8,596 \pm 220$ になる。

しかし旧PCが続いているとすれば、未だPCボトムはつけていないので、この反騰はすぐ終わり再び下落して $7,282 \pm 241$ をつけるだろう。このケースでの弱気相場における反騰の程度は $8,430 \pm 180$ であろう。相場が9,200を上回れば非常に強気であり、長期サイクル、例えば新48週サイクルに入っていることを示唆する”。

現在はどうか旧PCのボトム形成中のようだ。25日移動平均は現在 8,051。もし今週の引け値がこれを上回ればPCボトムは既につけたことを示唆し、次のPCの天井に向けて反騰中であることを意味する。さもなければ、旧PCが依然として続いていることになる。

24日移動平均は現在 9,035 で毎週約220ポイントづつ下降している。新PC及び新長期サイクルに入っていると見方を支持するためには、引け値がこれを上回る必要がある。これが実現する迄はすべての反騰は修正高に過ぎず弱気である。15日スローストキャステイクスは今週 $K=16.43\%$ 、 $D=26.52\%$ で始まる。両者は現在、再び下降を示しており2週間前の強気ループパターンを否定した。8日スローストキャステイクスは今週 $K=16.86\%$ 、 $D=15.56\%$ で始まる。両者は売られ過ぎの状態から上昇に転じ始めた。これは目先活気の出る最初のサインである。今週この上方へのフォロースルーがあるか否かに注目しよう。もしフォロースルーがあれば、それは新PCのスタートの可能性があり、3月初め迄続騰するだろう。

5. テクニカル下値支持線および上値抵抗線

週間下値支持線は現在 7,700~7,710、7,466~7,598、及び 7,202。週の引け値が 7,757 を下回れば弱気。週の途中で下回っても、週の引け値が上回れば強気トリガー。週間上値抵抗線は 7,858~7,868、8,065~8,139、8,346~8,435 及び 8,720。週の引け値が 8,129 を上回れば強気。週の途中で上回っても、週の引け値が下回れば弱気トリガー。

週間トレンドインディケーターポイントは現在 7,970。今週の引け値がこれを上回ればニュートラルに格上げされる。

弱気クロスオーバーゾーンが 8,597~8,632、9,638~10,563、11,500~11,700、12,600~12,861、14,223~14252、14,998~15,148、16,029~16,373、17,695~18,005 に存在する。

6. ストラテジー

相場の基調が強気トリガーから弱気トリガーに急変したので前週の私の強気ストラテジーを再検討する必要がある。強気の面では依然としてPCのボトムの時間帯に入っている。従って今後3週間以内にボトムをつける。トレーダーはこのボトムでは買いを狙うチャンスである。他方、弱気の面では現在テクニカルズは弱気でありロングポジションは先週ストップロスの売りが行使された筈である。相場がどこ迄下落するかは分からないのでトレーダーは強気サインが出る迄は傍観する必要がある。積極的なトレーダーはこれらの強気シグナルが出た時買いを狙うのがよいだろう。一方、より慎重なトレーダーは2~5週間の反騰を待って再びショートを狙うのがよいだろう。

★MMA Report は、メリマン氏独自の視点から分析し、情報提供を目的に作成されております。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。

